

平成30年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	学習指導 教育課程	<p>①半期単位認定（ Semester制）の教育課程を編成し、年次進行型での運用に取り組む。</p> <p>②組織的な授業改善を進め、生徒の学力の伸長を図る。</p>	<p>①新しい教育課程を運用し、課題等を検討する。 生徒の自己実現を目指し、適切な履修指導を行う。</p> <p>②主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点を踏まえた授業を組織的に実践し、生徒の学力向上を目指す。</p>	<p>①新しい教育課程を運用し、授業計画・内容を検討する。 生徒の自己実現のための履修指導を、グループ、年次で共有し実施する。</p> <p>②主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点を踏まえた授業実践のために、各教科等で協議を行う場を設定する。</p>	<p>①新しい教育課程を運用し、授業計画・内容を検討できたか。 履修指導をグループ、年次で共有し、実施できたか。</p> <p>②生徒による授業評価の項目4の回答4の割合が、学校全体の56%以上か。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①学校行事、部活動、委員会活動の更なる活性化を図り、その活動を通じて、人間形成を図り、全人教育を実践する。</p> <p>②生徒一人ひとりの個を尊重した支援体制の充実を図る。</p>	<p>①学校行事、部活動、委員会活動を通して、生徒の社会性や責任感、主体的に取り組む力を育成する。</p> <p>②教職員が連携して、生徒一人ひとりに向き合い、適切な指導・支援を行う。</p>	<p>①学校行事や委員会の課題解決方法を考えさせ、学校行事や日頃の活動をよりよいものにする。引き続き部活動を中心に挨拶を促す指導を行う。</p> <p>②「心の健康チェック」などを活用し、気になる生徒を早期に把握し、教職員の協力のもとで教育相談全体支援会議を中心に、支援が必要な生徒への指導を適切に行う。</p>	<p>①学校行事や委員会などの課題を明確にして、その解決にあたらせることができたか。計画的に挨拶の指導を実施できたか。</p> <p>②教育相談全体支援会議やスクールカウンセラーと連携して支援の必要な生徒に対応できたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>生徒がより高いレベルでの進路実現を達成できるよう進路指導の充実を図る。</p>	<p>生徒一人ひとりの進路希望を全職員で共有し、生徒指導・学習指導とより緊密な連携を図って生徒を支援する体制を作る。</p>	<p>①学習時間調査や進路希望調査を実施するとともに、さまざまな学習の機会を提供し、生徒一人ひとりに細やかなサポートができるようにする。</p> <p>②実力試験やスタディーサポートや3年次でのセンターリサーチの結果を分析し、生徒の進路希望を学校全体で共有し、高いレベルでの進路実現につながるよう支援する。</p>	<p>①調査を適切に実施し、充実した学習の機会を提供することができたか。</p> <p>②分析結果を各年次・各教科に適切に情報提供し、学校全体で生徒の進路希望を支援する機運を作れたか。</p>
4	地域等との協働	<p>地域との協働を推進し、地域から信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>①生徒の視野を広げ、幅広い学力を育てるために地域等の教育力を活用する。</p> <p>②学校の教育活動を積極的に情報提供して、地域から信頼される学校づくりに取り組む。</p>	<p>①生徒会、部活動などで地域との交流や地域貢献活動に積極的に取り組むとともに、地域の教育活動への参加を促す。</p> <p>防災訓練（年2回）や地元自治体との協議を通じて、地域と連携して災害に備える。</p> <p>②ホームページを充実させ、日々の教育活動、学校説明会や学校へ行こう週間などの情報を誰が見ても分かりやすく提供する。</p>	<p>①生徒会や部活動などが地域との交流や地域貢献活動に積極的に取り組んだか。また、地域の教育活動に参加した生徒がいたか。</p> <p>防災訓練での連携、防災に関する協議はできたか。（実施状況）</p> <p>②学校説明会や学校公開では、参加者に分かりやすい説明ができたか。</p> <p>ホームページでは、日々の教育活動について迅速に発信することができたか。</p>
5	学校運営 学校管理	<p>職員の一人ひとりが、生徒の夢を実現するため、相互協力の中で業務にあたる環境を整える。</p>	<p>①事故・不祥事防止に向けた意識を共有し、同僚性の高い職場環境をつくる。</p> <p>②「成績処理」「入学者選抜」等に係る事故防止に向けた見直しと教職員への周知に努める。</p>	<p>①教職員が県の方針と学校の教育方針を十分に理解し、事故・不祥事防止に万全を期せるよう、マニュアルを整備し、研修会を実施する。また、学校運営の実態を踏まえた適正な予算編成とその執行に努める。</p> <p>②「成績処理」などについて、教職員へ周知することで、事故防止に努める。</p> <p>「入学者選抜マニュアル」の見直しと研修会などを通じて、事故防止に努める</p>	<p>①教職員の事故防止に向けた意識を向上できたか。</p> <p>適正な予算編成と執行ができたか。</p> <p>②「すく〜るねっと」運用マニュアルの配付と研修会を通じて、教職員に周知できたか。</p> <p>「成績処理」などについて教職員に周知できたか。</p> <p>「入学者選抜実施要項」などの見直しと研修会を通じて、教職員に周知できたか。</p>